

令和4年度活動報告

江角学びの交流センター

はじめに：江角学びの交流センターとは

当センターは本学の附属機関として、地域社会に開かれた窓口としての機能を担い、各学科・専攻の学生・教職員による主体的かつ組織的な地域貢献活動を推進している。その事業内容は、自治体・公共団体・各種産業界との連携事業、市民講座の開講、学生ボランティア活動の支援、社会人のためのリカレント教育の実施、地域志向の教育課程の編成等々多岐にわたっている。

個々の活動内容の詳細については、主に本学公式サイトで随時情報発信している。また、毎年度末の「評議員会」〔当センター規約第7条〕では、自治体および産業界からの学外評議員を委嘱し、本学の地域貢献活動およびそれと連動した教育課程について、客観的に評価していただき意見聴取をしている。その資料集を「江角学びの交流センター事業概要」として下記 URL にて毎年更新しているので、ご高覧いただければ幸いである。<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/support/ezumi-center/>

令和4年度の評議員会は、令和5年3月16日、本学において外部評議員をお迎えし、4年ぶりに対面で実施することができた。外部評議員は以下のとおりである（敬称略・順不同）。

下屋敷由貴子（鹿児島県教育庁かごしま県民大学中央センター所長（兼）生涯学習課長）

安田直高（鹿児島市市民局市民文化部市民協働課課長）

木下勝幸（鹿児島県錦江町役場観光交流課課長）

〔代理出席：宿利原伸二〕

小笹康浩（株式会社鹿児島銀行地域支援部部長）。

令和4年度活動報告

1 地域人間科学研究所

(1)「純心市民講座」

令和4年度「純心市民講座」各講座の実施状況は表1のとおりである。夜間の外国語講座は、コロナ禍の中、会場確保が難しく閉講せざるを得なかった。その他の講座について言えば、中止や延期となった講座はなく、受講生の数も徐々に回復してきた。

表1 令和4年度「純心市民講座」実施状況

講座名	講師	定員	受講者数	会場
シルバー世代のための健康・教養講座 7/9 7/16 7/30 8/27 9/3 (土) 13時30分～15時30分 (全5回)	河野 一典 高岡 綾子 進藤 智子 小玉 智治 宮地真奈美 ／松元久明	各回 30名 (全5回)	延べ 174名	かごしま県民 交流センター
夏のおもてなし料理 7/16 (土) 10時～13時	大山 典子	20名	15名	本学 調理実習室
楽しくおいしく無駄なくクッキング 8/10 (水) 10時～13時	榎 順子	20組	6組 (14名)	本学 調理実習室
可愛い和紙人形を作ってみよう！ 8/20 (土) 13時～16時	濱崎 千鶴	15名	3組 (5名)	本学 被服実習室
お洒落な大島紬でポーチを作ろう 7/16 (土) 13時～16時	宮地真奈美	12名	11名	本学 被服実習室
はじめての英会話 幼児コース (春季) 6/25 7/2 7/16 7/23 7/30 (土) (全5回) ①4・5歳児コース9時～9時50分 ②5・6歳児コース10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	John Tremarco	①10名 ②12名	①9名 ②7名	本学 プレイルーム
はじめての英会話 幼児コース (秋季) 10/2 9 11/5 11/12 11/26 12/3 (土) (全5回) ①4・5歳児コース9時～9時50分 ②5・6歳児コース10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	John Tremarco	①10名 ②12名	①9名 ②5名	

想林第14号

講座名	講師	定員	受講者数	会場
はじめての英会話 小学生コース (春季) 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6 (土) (全5回) ①低学年コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	David O'Connor	①15名 ②15名	①15名 ②4名	本学 講義室 (2-206)
はじめての英会話 小学生コース (秋季) 10/29 11/5 11/26 12/3 (土) (全4回) ①低学年コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	Paul Johnstone Stephen Hill	①15名 ②15名	①9名 ②4名	



シルバー世代のための健康・教養講座



夏のおもてなし料理

(2) リカレント教育

社会人の学び直しの講座（正規の授業を含む）の充実に引き続き努めている。

「科目等履修生」：いくつかの条件の審査をクリアすれば、本学の全授業科目を受講することができる。

「履修証明プログラム」：令和4年度は5つのプログラムを公開した。本プログラムは1年間で本学の正規授業数科目を組み合わせ受講し、修了者には一定の職業的知識・技能を習得したことが認められ、学校教育法105条の規定に基づく履修証明書を交付する。

社会人に開かれたこれらの開講科目を常に検討し、多くの社会人の方々のニーズに応えられるように努める所存である。具体的なプログラムについては、下記 URL にて毎年更新しているので、ご高覧いただければ幸いである。

<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/region/>

令和4年度活動報告

生涯学習事業は、市民生活に寄与する地域社会の学びの場を提供する。本学の教育・研究資源を社会に還元し、地域社会の活性化の一助となれば幸いである。皆様の温かいご協力・ご支援を仰ぎたい。

(文責 河野一典)

3 こどもの未来支援室

「純心こども講座」として、「リズムあそび」と「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の2講座を企画、実施した。

春季講座として5月・6月に各1回、秋季講座として10月・12月に各1回、「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、5月の講座は実施を見送った。

ここ数年の状況同様に、密集、密接、密閉を避けるため、募集定員を減らし、新型コロナウイルス感染症への対策をとった上での実施となった。

講座の開始時刻は、前年度と同様に午前10時開始とした。表2は、実施状況を示したものである。

表2 令和4年度「純心こども講座」実施状況

講座名	担当講師	定員	受講者数	会場
リズムあそび(春季) ①5/21 ②6/11(土) 10時00分～11時00分(全2回)	萩原 香織	各回40組 (全4回)	①中止 ②17組(20名)	本学 体育館
リズムあそび(秋季) ①10/8 ②12/10(土) 10時00分～11時00分(全2回)		各回40組 (全4回)	①18組(20名) ②29組(32名) (無料招待含む)	
いろとあそぼう・かたちとあそ ぼう(春季) ①5/21 ②6/11(土) 10時00分～11時00分(全2回)	榎本 容好	各回20組 (全4回)	①中止 ②17組(23名)	本学 プレイ ルーム
いろとあそぼう・かたちとあそ ぼう(秋季) ①10/8 ②12/10(土) 10時00分～11時00分(全2回)		各回20組 (全4回)	①10組(12名) ②06組(07名)	



リズムあそび



いろとあそぼう・かたちとあそぼう

今年度の「リズムあそび」でも、講座のプログラムの前半にコーナー遊びを実施し、後半に全体でのリズム体操を行う方法で実施した。

親子を対象とした講座では、参加者全員が開始時間に揃っていないことも珍しくないため、開始時刻に間に合わなくても参加しやすいよう、この2年間はこの方法での実施している。

プログラムの前半にコーナー遊びを取り入れることは、初めて参加する子どもにとっても、場に慣れる時間として必要なものとなっているようだ。体育館の大きさ、初めて出会う学生や様々な年齢の子どもたちと、初めて参加する子どもにとって少し気後れしそうな状況にも、遊んでいるうちに場の雰囲気にも慣れ、後半の活動にスムーズに参加できたようであった。

純心こども講座では、参加した親子が楽しめることを大切にしている。新型コロナウイルス感染症の拡大により活動を縮小せざるを得ない状況が続いているが、このような状況だからこそ参加者のニーズに寄り添えるよう、講座内容や参加しやすさなどについて丁寧に検討する姿勢を大切にしたい。

「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」では、昨年度に引き続き一回完結型でなく、連続性のある活動を提供することができた。また、発泡スチロールとプロジェクターを用いたインスタレーションにも挑戦し、ここでしか体験できない活動を提供することができた。

今年度は新たに、12月の講座は「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の合同開催を試みた。具体的には、前半にクリスマスのオーナメント作りを行い、後半にリズムダンスをし、両方の講座の

令和4年度活動報告

内容を経験できるプログラムとした。参加者のアンケートからは、合同開催としたことについて、「両方経験できてよかった」「もう一方の講座の様子が知れてよかった」といった肯定的なコメントが寄せられた。

また、新型コロナウイルス感染症の流行拡大への懸念から、一般の受講者数は伸び悩んだ。それに代わる方法として、本学周辺の園に声をかけ、希望者があれば招待枠で受講していただいた。令和4年度の講座は1回中止に至ったが、おかげさまで3回は当初の計画通り実施することができた。また、指導補助員として参加した本学こども学専攻の学生にも、学びの機会を提供できた。年に4回という小さな取組ではあるが、今年度の実施から得た実感を元に、次年度もさらに参加者が楽しめる講座を企画していきたい。

最後に、「純心こども講座」を毎年楽しみにしてくださっている地域の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げたい。

(文責 森木朋佳)

